

# 愛知県感染症情報

平成 11 年第 44 週 (11 月第 1 週)

(コメント)

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘が増加しています。

感染性胃腸炎も相変わらず多い状況です。インフルエンザも見られます。

(先生方からのコメント)

- ・ マイコプラズマ肺炎 7 才女  
サルモネラ 0-4 2 才男  
(岡崎市 小児科延寿堂杉浦病院)
- ・ サルモネラ 0-9 6 才  
(岡崎市 花田こどもクリニック)
- ・ サルモネラ 0-9 2 才  
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 下痢を伴わない、嘔吐のみの症例が増えてきました。  
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 病原性大腸菌 0-1 1 才 8 ヶ月男。  
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎 11 才女  
(豊田市 保見診療所)
- ・ 流行性耳下腺炎 (平成 10 年ムンプスワクチン済) 5 才女  
(東海市 ハヤカワ小児科)
- ・ 幼児、学童にマイコプラズマ肺炎流行しているようです。(4 才女  
児入院例あり)  
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ 溶連菌感染症増えてきました。  
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎が 3 名ありました。感冒性消化不良病も見られる様になりました。  
(春日井市 かがわ北病院)

- ・ ロタウイルス腸炎が 2 例みられました。  
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ ムンプス続発中  
週末より胃腸炎がでてきました。  
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ A 群溶連菌感染症、嘔吐を伴う感染性胃腸炎が増加してきています。  
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ (1)インフルエンザ A・B 重複感染 10 才男  
インフルエンザ A 型(HI)  
A 型(H1N1) 64 倍  
A 型(H3N2)128 倍  
インフルエンザ B 型(HI)  
B-1 1024 倍
- ・ (2)インフルエンザ A・B 重複感染 6 才男  
インフルエンザ A 型(HI)  
A 型(H1N1) 128 倍  
A 型(H3N2)4096 倍  
インフルエンザ B 型(HI)  
B-1 1024 倍
- ・ (3)インフルエンザ B 型 256 倍 35 才女
- ・ (1)～(3)の 3 人は母と子です。  
パラインフルエンザⅢ型 2 人 (2 才女、3 才女)  
(尾西市 城後小児科)
- ・ 4 才の 水痘はワクチン歴あり  
(一宮市 あさのこどもクリニック)
- ・ 乾燥と温度差が激しいためか咽頭痛、扁桃炎等で高熱がつづくカ  
ゼが増加しています。  
(一宮市 田中内科小児科)

(1～3 類感染症の発生状況)

発生はありませんでした。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

急性ウイルス性肝炎患者 1 名。

◆第42週(10月18日～10月24日)の4類感染症の全国状況

例年の同時期に比べA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどの疾患の定点当たり報告数がやや多く、突発性発疹はかなり多くなっている。国立感染症研究所ウイルス第1部呼吸器系ウイルス室の1999/2000シーズンインフルエンザ流行情報(1)によると、静岡県の家族内流行例の1999年10月21日の臨床材料から香港(H3N2)型ウイルスが分離され、静岡県衛生研究所の抗原分析では、A/Sydney/5/97様ウイルス(ワクチン株)とのことである。流行性角結膜炎は、愛媛県で定点当たり3.43、高知県で3.33と報告が多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

◆インフルエンザ速報

今シーズン(1999/2000)当初におけるインフルエンザウイルスA(H3)型の分離-静岡県

静岡県内のインフルエンザの届け出は、第41週(10月11日～17日)において12人(0.09人/定点)であり、インフルエンザはまだ本格的に流行していないが、10月21日に採取された家族内流行の検体からインフルエンザウイルスA(H3)型が2株分離されたので報告する。

症例は静岡市在住の2歳と4歳の姉妹で、2人とも10月17日に発病し、発熱(39℃)と下気道炎を主訴として県立総合病院を受診した。検体の咽頭ぬぐい液は、10月21日に採取され、感染症流行予測調査の一環で10月22日に当研究所に搬入されたもので、当日MDCK細胞に接種してウイルス分離に供した。国立感染症研究所・呼吸器系ウイルス室分与の1998/1999シーズン用検査抗血清キットを用いてHI試験を行うと、この分離株を抗原とする抗A/シドニー/5/97血清(ホモ価1:160)の抗体価は1:320～1:640であった。

佐原啓二 長岡宏美 三輪好伸 杉枝正明 秋山真人 静岡県環境衛生科学研究所

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)